



～訓子府町まちづくり推進会議条例に基づく～

第5回まちづくり推進会議

令和3年
4月28日発行

日 時：令和3年3月25日（木）18:30～20:00 場 所：公民館講堂
出席者：委員 14 名 事務局4名

協議事項

◆これまでのまちづくり推進会議を振り返って

これまでに実施してきたまちづくり推進会議の概要を説明し、WG（ワーキンググループ）にて、各グループで集まった意見等を担当者が発表しました。

～これまでのまちづくり推進会議の概要～

○第1回まちづくり推進会議

開催日	令和元年7月23日（火）
出席者	委員：22名 事務局：3名 説明員：2名
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の互選について ・町民参加のまちづくりについて ・まちづくり推進会議の進め方について（その他） ・通学路への防犯カメラの設置について（情報提供）

○第2回まちづくり推進会議

開催日	令和元年11月6日（水）
出席者	委員：18名 事務局：3名 説明員：5名
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生総合戦略について ・通学路への防犯カメラの設置について ・まちづくり推進会議の進め方について（その他） ・まちづくり推進会議の位置付けについて ・町道南4線の整備について ・「よくわかることしの仕事」のリニューアルについて ・「開町100周年・町制施行70年記念事業」のアイデア募集について ・防災講演会のご案内について

○第3回まちづくり推進会議

開催日	令和2年7月2日（木）
出席者	委員：18名 事務局：4名 説明員：9名
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎の建設について ・光ファイバの整備について（その他） ・新型コロナウイルス感染症対策について

○第4回まちづくり推進会議

開催日	令和2年11月12日（木）
出席者	委員：11名 事務局：4名
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について



○ディスカッション内容に伴う主な意見等

①会議回数や会議時間は適切か

A 委員：開催時間が6時半だと仕事終わりに急がなければならないので、7時のほうがありがたい。

B 委員：議題が多い年もあれば少ない年もあるので、3回も開催すれば、十分に感じる。

I 委員：年に3回や4回の開催であれば、日中に行うことはできないのか。

②会議開催時期は適切だったか

A 委員：町で緊急性があり、すぐに意見を求めたいのであれば、いつ開催しても良い。

③会議の議題は適切だったか

I 委員：町民に寄り添った議題で良いが、人により賛否が分かれてしまうので、前提の部分から会議を開催してもらえたら。

E 委員：今までの会議はぼんやりしていて意見がただの感想になりがちだ。

④委員構成は適切か(人数・役職・男女・年齢等)

C 委員：有識者として議会の議長を経験している人なども会議に加えてはどうか。

E 委員：別な会議でも呼ばれている委員は同じなので、多様性が生まれない。

A 委員：女性の意見を多く聞きたい。(半数は女性で)

H 委員：男女でグループ分けするのはどうか。

⑤議案や資料はわかりやすいか

F 委員：パワーポイントで説明しつつ、資料も手元にあれば良い。

⑥事務局の説明は適切だったか

B 委員：耳が遠いので、話していることが聞き取れないことがある。

⑦会議で意見を述べやすい雰囲気だったと感じたか

D 委員：グループワークになったことで意見を述べやすくなったが、もっと距離が近くなると、なお良いと感じた。

⑧感染症対策がとれていたか

E 委員：会議の時間が長く、これでは感染対策にはなり得ないので、もっと会議時間を短くすべき。

⑨その他改善すべき点

H 委員：実際に何か悩んでも、身近な人に相談するので、このような組織の認知度を上げるべき。

K 委員：この組織の影響力は、町長や議会にどれだけ影響があるのか。



⑩今後のまちづくり推進会議のあり方に関する意見

E 委員：「ふるさと納税を考える」という議題はどうか

J 委員：いろいろなところで話が上がっている「農業者のパートナー問題」を今後どうにかできるよ
う取り上げていただきたい。

K 委員：教室のような形式ではなく、今後についてもグループ形式が良いと感じる。

J 委員：自らが議題を決めるような組織に変えられたら良いと感じる。

E 委員：会議として自分の意見が反映されることで、次につながると感じる。

A 委員：町から議題を提示するのではなく、委員から議題を提起できれば良いと感じる。

G 委員：会議の組織が複数あり、組織の意味合いがはっきりしていないため、直接町民の意見が反映
されていない。

L 委員：成果がすぐに出ないような議題でも、長期的に行うことで、成果が出るものもあるのでは
ないか。

L 委員：出ていく町ではなく、また戻ってきたいと思えるようなまちづくりを行ってほしい。

J 委員：物理的な課題（マイナス面）だけでなく、どうやったら楽しく生活できるか（プラス面）と
いったところも議題にしてはどうか。

⑪まちづくり推進会議に出席した感想など

A 委員：将来、自分が住みやすい町に住むために参加しているので、色々なことが感じられて良かっ
たと感じる。

L 委員：若い世代が意見を出せるので、そういった場所はなかなかないので良かった。

J 委員：意見があまり反映されず、どれだけ議論してもという気持ちになった。

その他

※ワーキンググループを行う中で町への意見や感想という割合が強いものをその他として取り上げる。

E 委員：交通安全やスポーツ少年団がここまで活発な町はないのでは。

L 委員：都会にはない手厚い補助をアピールして、町民を増やせないか。

L 委員：町をアピールできる場所を増やせないか。



まちづくり推進会議の資料は、役場庁舎(正面玄関横)および図書館に設置しています
「まちづくり情報コーナー」で閲覧ができます。

